



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8154 URL <https://www.taxan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 門 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	298,760	34.0	18,361	121.2	18,932	124.0	13,412	138.5
2022年3月期第2四半期	223,009	18.1	8,300	87.2	8,452	94.8	5,624	△47.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 21,035百万円 (218.9%) 2022年3月期第2四半期 6,595百万円 (△40.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	510.88	—
2022年3月期第2四半期	207.39	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	290,923	124,928	42.9
2022年3月期	272,139	105,800	38.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 124,808百万円 2022年3月期 105,680百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	45.00	—	75.00	120.00
2023年3月期	—	100.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2022年3月期 中間配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当 5円00銭

2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当 35円00銭

2023年3月期 中間配当金の内訳 普通配当70円00銭 特別配当 30円00銭

2023年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当70円00銭 創立55周年記念配当 10円00銭 特別配当 20円00銭

配当予想の修正については、本日(2022年11月8日)公表しました「2023年3月期通期業績予想の修正(上方修正)ならびに剰余金の配当および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	15.0	28,000	33.9	29,000	35.2	20,000	29.9	761.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日(2022年11月8日)公表しました「2023年3月期通期業績予想の修正(上方修正)ならびに剰余金の配当および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	28,702,118株	2022年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,440,773株	2022年3月期	2,454,162株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	26,253,692株	2022年3月期2Q	27,120,191株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2022年11月24日(木)に機関投資家およびアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。なお、四半期決算説明補足資料につきましては本日(2022年11月8日(火))、TDnetおよび当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、四半期決算説明会内容(動画)については、当日使用する決算説明資料とともに、2022年11月24日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です(ただし、英文動画は後日掲載)。

(和文) [https://www.taxan.co.jp/jp/ir/event/event\\_01.html](https://www.taxan.co.jp/jp/ir/event/event_01.html)

(英文) [https://www.taxan.co.jp/en/ir/event/event\\_01.html](https://www.taxan.co.jp/en/ir/event/event_01.html)

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	8
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(追加情報) .....	11
(セグメント情報) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国ではインフレや金融引き締めの影響による景気減速の傾向が見られ、欧州ではウクライナ情勢の長期化にともなうエネルギー価格の高騰や利上げの影響を受け景気は減速しました。また、中国ではゼロコロナ政策にともなう厳格な行動制限により個人消費の回復が鈍化するなど、世界的に不安定な状況が継続しました。一方、我が国経済は、円安進行による物価上昇圧力が強まる中、まん延防止等重点措置終了を受けて行動制限が緩和され、個人消費の回復を中心に景気は緩やかに持ち直しました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界では、一部の半導体や電子部品における世界的な供給不足や長納期化の状況に、車載や産業機器関連など一部の製品を除いて需給改善の傾向がみられ、広範な産業分野で旺盛な需要が続きました。

このような経営環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は、主力の電子部品事業が牽引し2,987億60百万円（前年同四半期比34.0%増）となりました。

営業利益は、売上高の増加および売上総利益率の改善により売上総利益が大幅に増加し、183億61百万円（前年同四半期比121.2%増）となりました。経常利益は189億32百万円（前年同四半期比124.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は134億12百万円（前年同四半期比138.5%増）となりました。売上高から四半期純利益まで、すべての項目で第2四半期連結累計期間としては過去最高を更新しました。

当社グループは2021年11月に、当2023年3月期から2025年3月期までの3ヶ年の経営計画「中期経営計画2024（2022-2024）」を公表しました。「自律成長+新規M&A」を成長エンジンに据え、海外ビジネスおよびEMS<sup>(注)</sup>ビジネスを強化・拡大し、最終年度の2025年3月期には「売上高7,500億円、我が国業界トップクラスの企業」の実現を目指す新たな中期経営計画初年度として順調なスタートを切ることができました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	増減	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	223,009	298,760	75,751	34.0%
売上総利益 (利益率)	27,133 12.2%	40,001 13.4%	12,868 1.2pt	47.4% -
販売費及び一般管理費	18,832	21,639	2,807	14.9%
営業利益	8,300	18,361	10,060	121.2%
経常利益	8,452	18,932	10,479	124.0%
税金等調整前四半期純利益	8,229	18,951	10,722	130.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,624	13,412	7,787	138.5%
為替レート（期中平均） USドル	109円80銭	133円97銭	24円17銭	-

セグメントごとの業績概況は次のとおりであります。

①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など）

当事業では、部品販売ビジネスは、広範な業界からの顧客要望を前広に取り込み、販売を大きく伸ばしました。また、前連結会計年度より継続する半導体や電子部品の需給逼迫は、一部の部材で緩和してきたものの、依然として供給不足が続く車載・産業機器関連の顧客向けには、独立系商社としての調達力の強みを活かした販売物量の確保や代替製品の提案などに精力的に取り組みました。加えて、加賀FEI株式会社や株式会社エクセルなど買収会社においてもPMI<sup>(注)</sup>が順調に進捗し、収益拡大に貢献しました。

EMSビジネスは、車載関連および医療機器関連等を中心として主要顧客向けの販売がいずれも大きく伸長しました。また、為替の円安影響も収益に寄与しました。

これらの結果、売上高は2,684億64百万円（前年同四半期比38.1%増）、セグメント利益は166億17百万円（前年同四半期比133.3%増）となりました。

（注）Post Merger Integrationの略語。企業買収後の統合プロセス。

②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

当事業では、法人向けおよび教育機関向けパソコンの販売は高価格製品を中心に堅調に推移し、セキュリティソフトなどPC周辺機器も好調な販売が持続しました。また、LED設置ビジネスは資材不足で遅延していた大口工事が再開し、収益が改善しました。

これらの結果、売上高は195億97百万円（前年同四半期比4.7%増）となり、セグメント利益は9億65百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

当事業では、ゲーム制作やCG制作における新規案件の受注増などにより収益が改善しました。

これらの結果、売上高は13億7百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は95百万円（前年同四半期は109百万円の損失）となりました。

④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

当事業では、PC製品ならびにPC周辺機器のリサイクルビジネスは好調に推移しました。また、コロナ禍における行動制限の緩和を受け、国内外におけるアミューズメント業界向けアーケードゲーム機器やゴルフ用品も販売を伸ばしました。

これらの結果、売上高は93億92百万円（前年同四半期比8.6%増）となり、セグメント利益は6億58百万円（前年同四半期比105.2%増）となりました。

<セグメント別業績の状況>

		前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	増減	
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	194,406	268,464	74,057	38.1%
	セグメント利益	7,123	16,617	9,493	133.3%
情報機器事業	売上高	18,713	19,597	883	4.7%
	セグメント利益	910	965	54	6.0%
ソフトウェア事業	売上高	1,237	1,307	69	5.6%
	セグメント利益	△109	95	204	—
その他事業	売上高	8,651	9,392	740	8.6%
	セグメント利益	320	658	337	105.2%
合計	売上高	223,009	298,760	75,751	34.0%
	セグメント利益	8,300	18,361	10,060	121.2%

（注）「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,909億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ187億83百万円の増加となりました。

流動資産は2,517億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ177億80百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が74億32百万円、商品及び製品が65億83百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は391億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億3百万円の増加となりました。

負債は1,659億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億44百万円の減少となりました。

純資産は1,249億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ191億28百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上し、株主資本合計が115億22百万円、為替換算調整勘定が74億78百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、456億36百万円と前連結会計年度末に比べ63億96百万円の増加となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、106億50百万円の収入（前年同期は20億13百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、34億92百万円の支出（前年同期は36億99百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得と定期預金の預入による支出によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、31億87百万円の支出（前年同期は5億29百万円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては半導体・電子部品の需給動向や新型コロナウイルスの感染状況、ウクライナ情勢、為替変動など先行き予断を許さないことから、当第2四半期連結累計期間における業績動向のみ勘案して、2022年8月4日に公表しました2023年3月期連結業績予想数値を次の通り修正するとともに、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当および期末配当予想の増配修正を行うことといたしました。なお、第3四半期以降につきましては前回予想時の見通しを変えておりません。

詳細につきましては、2022年11月8日公表の「2023年3月期通期業績予想の修正（上方修正）ならびに剰余金の配当および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## ① 連結業績予想数値の修正

	2022年3月期	2023年3月期	2023年3月期	前回予想との	
	実績	前回予想	今回予想	差異	
	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高	495,827	540,000	570,000	30,000	5.6%
営業利益	20,915	24,000	28,000	4,000	16.7%
経常利益	21,456	24,500	29,000	4,500	18.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,401	16,000	20,000	4,000	25.0%
ROE	15.7%	14.0%	17.0%	3.0pt	—

## ②配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2022年5月12日発表)	円 銭 70.00	円 銭 80.00 (普通配当 70.00) (記念配当 10.00)	円 銭 150.00 (普通配当 140.00) (記念配当 10.00)
今回修正予想		100.00 (普通配当 70.00) (記念配当 10.00) (特別配当 20.00)	200.00 (普通配当 140.00) (記念配当 10.00) (特別配当 50.00)
当期実績	100.00 (普通配当 70.00) (特別配当 30.00)		
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	45.00 (普通配当 40.00) (特別配当 5.00)	75.00 (普通配当 40.00) (特別配当 35.00)	120.00 (普通配当 80.00) (特別配当 40.00)

(注) 上記の予想につきましては、当社が公表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,051	48,484
受取手形	1,449	2,482
電子記録債権	9,258	8,468
売掛金	110,240	113,589
有価証券	264	256
商品及び製品	46,230	52,814
仕掛品	2,363	2,887
原材料及び貯蔵品	14,013	15,584
その他	9,388	7,374
貸倒引当金	△275	△176
流動資産合計	233,984	251,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,925	6,727
機械装置及び運搬具（純額）	6,048	6,910
工具、器具及び備品（純額）	1,030	1,104
土地	5,074	5,074
建設仮勘定	313	714
有形固定資産合計	19,393	20,532
無形固定資産		
のれん	98	64
ソフトウェア	3,021	2,831
その他	42	35
無形固定資産合計	3,163	2,930
投資その他の資産		
投資有価証券	10,313	10,761
繰延税金資産	2,189	1,876
差入保証金	1,068	1,076
保険積立金	915	917
その他	3,466	3,443
貸倒引当金	△2,355	△2,381
投資その他の資産合計	15,598	15,694
固定資産合計	38,155	39,158
資産合計	272,139	290,923

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,493	84,968
短期借入金	23,858	25,313
未払費用	7,138	8,471
未払法人税等	2,834	4,815
役員賞与引当金	301	140
その他	12,291	8,470
流動負債合計	132,918	132,181
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	25,136	15,121
繰延税金負債	2,046	2,575
役員退職慰労引当金	123	131
退職給付に係る負債	2,095	2,145
資産除去債務	572	597
その他	3,446	3,243
固定負債合計	33,421	33,813
負債合計	166,339	165,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	14,818	14,820
利益剰余金	77,423	88,913
自己株式	△5,643	△5,612
株主資本合計	98,732	110,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,299	1,465
繰延ヘッジ損益	△2	89
為替換算調整勘定	5,439	12,918
退職給付に係る調整累計額	210	81
その他の包括利益累計額合計	6,948	14,554
非支配株主持分	120	119
純資産合計	105,800	124,928
負債純資産合計	272,139	290,923

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	223,009	298,760
売上原価	195,875	258,759
売上総利益	27,133	40,001
販売費及び一般管理費	18,832	21,639
営業利益	8,300	18,361
営業外収益		
受取利息	68	76
受取配当金	111	177
受取手数料	99	109
持分法による投資利益	—	21
為替差益	114	359
その他	343	215
営業外収益合計	738	959
営業外費用		
支払利息	148	294
持分法による投資損失	403	—
その他	33	95
営業外費用合計	586	389
経常利益	8,452	18,932
特別利益		
固定資産売却益	2	11
投資有価証券売却益	11	39
事業譲渡益	7	—
退職給付制度改定益	—	126
米国子会社資金流出事案に伴う見積損失戻入	172	—
その他	15	1
特別利益合計	209	177
特別損失		
減損損失	36	28
固定資産除却損	9	1
投資有価証券評価損	56	126
関係会社清算損	174	—
貸倒引当金繰入額	131	—
その他	24	1
特別損失合計	432	158
税金等調整前四半期純利益	8,229	18,951
法人税、住民税及び事業税	2,130	4,773
法人税等調整額	339	756
法人税等合計	2,469	5,529
四半期純利益	5,759	13,422
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,624	13,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	135	9

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	168
繰延ヘッジ損益	△36	92
為替換算調整勘定	621	7,326
退職給付に係る調整額	8	△129
持分法適用会社に対する持分相当額	106	156
その他の包括利益合計	835	7,613
四半期包括利益	6,595	21,035
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,453	21,019
非支配株主に係る四半期包括利益	142	16

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,229	18,951
減価償却費	1,869	2,009
減損損失	36	28
のれん償却額	56	34
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61	△114
受取利息及び受取配当金	△180	△253
支払利息	148	281
持分法による投資損益 (△は益)	403	△21
投資有価証券売却損益 (△は益)	△10	△39
投資有価証券評価損益 (△は益)	56	126
米国子会社資金流出事案に伴う見積損失戻入	△172	—
売上債権の増減額 (△は増加)	12,706	3,614
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,908	△3,984
未収入金の増減額 (△は増加)	1,749	1,828
前渡金の増減額 (△は増加)	△320	79
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,121	△8,020
未払費用の増減額 (△は減少)	550	908
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△244	1,021
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△181	△13
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△1,731	△4,195
その他	174	1,347
小計	58	13,598
利息及び配当金の受取額	189	254
利息の支払額	△146	△266
法人税等の支払額	△2,286	△2,936
その他	171	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,013</b>	<b>10,650</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1	△934
定期預金の払戻による収入	466	—
有形固定資産の取得による支出	△1,586	△1,786
有形固定資産の売却による収入	14	19
無形固定資産の取得による支出	△723	△258
投資有価証券の取得による支出	△883	△392
投資有価証券の売却による収入	215	261
短期貸付けによる支出	—	△361
長期貸付けによる支出	△1,179	△6
その他の支出	△137	△60
その他の収入	116	25
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,699</b>	<b>△3,492</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,607	△709
長期借入金の返済による支出	△652	△10,018
社債の発行による収入	—	9,945
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△21
自己株式の取得による支出	△3,675	△1
配当金の支払額	△1,372	△1,966
その他	△378	△415
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>529</b>	<b>△3,187</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	194	2,425
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△4,989</b>	<b>6,396</b>
現金及び現金同等物の期首残高	44,333	39,240
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,343	45,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

（新型コロナウイルス感染症拡大にともなう会計上の見積りについて）

固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りにつきましては、当第2四半期連結会計期間末日現在で入手可能な情報に基づき実施しており、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

## （セグメント情報）

## I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	194,406	18,713	1,237	8,651	223,009	—	223,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,484	2,310	349	3,306	7,451	△7,451	—
計	195,891	21,023	1,587	11,957	230,460	△7,451	223,009
セグメント利益又は損 失(△)	7,123	910	△109	320	8,245	55	8,300

(注) 1. セグメント利益の調整額55百万円には、セグメント間取引消去55百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	268,464	19,597	1,307	9,392	298,760	—	298,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,772	3,393	517	4,039	9,723	△9,723	—
計	270,236	22,990	1,824	13,431	308,484	△9,723	298,760
セグメント利益	16,617	965	95	658	18,335	25	18,361

(注) 1. セグメント利益の調整額25百万円には、セグメント間取引消去25百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。